

## 資料 6

イベント開催に係る取り扱い変更（案）  
について

**現 況**

- 参加者5,000人超かつ収容率50%超のイベントについては、主催者がイベント開催の2週間前を目途に、具体的な対策内容を記載した「感染防止安全計画」を作成し、県へ提出する必要がある。参加者5,000人以下イベントについては「チェックリスト」を作成し、主催者側ホームページ等で公開する必要がある（県への提出は不要）。
- 過去のイベント（成人式や卒業式等）では、イベント終了後に感染拡大傾向が見られ、特に、今年は過去2年間、コロナ禍で中止したイベントを、3年ぶりに予定しているケースも多く、夏場は数多くのイベントが予定されている。
- 飲食、特にアルコール提供を伴うイベントや三密（密集・密接・密閉）が予想されるイベントも含まれており、感染対策が十分でない場合には、さらなる感染拡大の要因となる可能性がある。そのため、当該イベントについては、実施にあたって慎重な判断が求められる。

**今後の取り扱い（案）**

- ① 感染拡大時においては、参加者1,000人以上のイベントについては、感染防止安全計画の対象とし、原則、イベント開催の2週間前までに県へ提出することを求める。
- ② イベント終了後は結果報告書の提出を求める。
- また、イベント実施にあたっては、③業種別ガイドラインを徹底すること、④参加者及び出演者に対してマスク着用の徹底、⑤屋内開催のイベントでは換気の徹底を求める。
- 飲食、特にアルコールの提供を伴うイベントや三密が予想されるイベントでは、主催者に対して、感染対策の徹底を促す。感染対策が十分でないと思われるイベントについては、規模の縮小や延期も含めて、主催者側に慎重な判断を求める。もし実施をする場合でも、以下の対応を求める。
  - (1) アルコール提供を行う場合には、十分な感染対策を行うこと
  - (2) 屋内ではマスクを着用する
  - (3) 参加者は検査で陰性確認を行うこと
  - (4) 参加者は大声を出さないこと
  - (5) 屋外でも多人数が密集しないようにする
  - (6) 高齢者等のハイリスク者は参加は控えること
  - (7) イベント終了後は寄り道せず帰宅すること

項 目	基本的な感染対策
①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	<p>□飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、大声を出さないこと（「大声あり」のイベントの場合は除く。）や適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用を周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 大声を「観客等が、㊦通常よりも大きな声量で、㊦反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を施さないイベントは「大声あり」に該当することとする。</li> <li>* 大声を伴う可能性のあるため収容率を50%とする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底すること。</li> <li>* 飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量のBGMや応援なども含む。</li> <li>* マスクの着用については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。</li> </ul>
②手洗、手指・施設消毒の徹底	<p>□こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）</p> <p>□主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施</p>
③換気の徹底	<p>□機械換気による常時換気又は窓開け換気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 必要な換気量（一人当たり換気量30m<sup>3</sup>/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）</li> <li>* 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け</li> <li>* 機械換気、窓開け換気ともに相対湿度の目安は40-70%</li> <li>* 屋外開催は除く</li> </ul>



項 目	基本的な感染対策
④来場者間の密集回避	<p><input type="checkbox"/>入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施</p> <p><input type="checkbox"/>休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築</p> <p>＊入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じて収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。</p> <p><input type="checkbox"/>大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保</p> <p>＊「大声あり」の場合、座席間は1席（立席の場合できるだけ2 m、最低1 m）空けること。</p>
⑤飲食の制限	<p><input type="checkbox"/>飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>食事中以外のマスク着用の推奨</p> <p><input type="checkbox"/>長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛</p> <p>＊発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。</p> <p><input type="checkbox"/>自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）</p>

項 目	基本的な感染対策
⑥出演者等の感染対策	<p><input type="checkbox"/>有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する</p> <p>＊体調が悪いときは医療機関等に適切に相談。</p> <p><input type="checkbox"/>練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。</p> <p>＊練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検 査等の対策が必要。</p> <p><input type="checkbox"/>出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）</p>
⑦参加者の把握・管理等	<p><input type="checkbox"/>チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握</p> <p>＊接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）を活用。</p> <p>＊原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底。</p> <p><input type="checkbox"/>入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止</p> <p>＊チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること。</p> <p><input type="checkbox"/>時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起</p>

※上記に加え、自治体からの要請や各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。